

令和4年度 第2回 横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	令和4年8月23日(火) 午後2時～4時25分
開 催 場 所	山内地区センター 会議室2
出 席 者	金沢委員長、小澤委員、柴田委員、竹原委員、渡邊委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者2人)
議 題 お よ び 議 事	<p>1 山内図書館視察(案内及び説明は指定管理事業者)</p> <p>2 令和3年度管理業務の評価に関する事業者ヒアリング</p> <p>(1) 指定管理者からの運営報告</p> <p>(2) 指定管理者へのヒアリング</p> <p>令和3年度管理業務評価シート(資料2)の項目順に、以下のとおり進行。</p> <p><u>I-(1) 基幹的な図書館サービス</u></p> <p>(A委員) 地域資料は一般書と児童書の両方に置いてあるが、分ける基準はあるか。 (指定管理者) ルビのあるような本は児童書としている。一般書と児童書の両方に同じ本を置く場合もある。</p> <p>(B委員) その場合、同じ本を複数購入しているのか。 (指定管理者) そのとおり。ただ地域資料は購入ができず、寄贈いただく資料も多い。両方に置きたいものはその分だけ寄贈いただけるよう依頼している。</p> <p>(C委員) CDブックは機器がないと聴けないが、図書館で貸出して自宅の機器で再生する想定なのか。館内にCDを聴ける機器はあるのか。 (指定管理者) DVD視聴とあわせてCDも聴ける機器とヘッドフォン、視聴スペースを用意しているので、申し込みがあれば館内で聴いていただける。</p> <p>(D委員) 団体貸出の登録団体数は、どのくらい減少したのか。 (指定管理者) 平成29年度は71団体だったが、令和3年度は51団体。家庭文庫はもともと高齢化による後継者不足があったが、コロナ禍でさらに減少している。</p> <p>(E委員) 外国人に対する取組は何かしているのか。 (指定管理者) 英語のおはなし会を年に2回開催している。</p> <p>(B委員) 館内の表示はどうか。 (指定管理者) 一部表示は英語併記にしているが、中国語や韓国語の表記はない。</p> <p>(B委員) 外国語の絵本や児童書は、別置するなどわかりやすく置いてあるのか。 (指定管理者) 一般向け、児童向けともに別置してある。</p> <p>(D委員) 外国人の方が来館して英語で質問することはあるのか。 (指定管理者) ある。何人かは英語での対応ができる。</p>

(A委員) 地図や科学的な資料など更新が必要な資料は、どのような基準で更新や廃棄をしているのか。

(指定管理者) 最新の情報が必要な資料は留意して、新しいものに買い替えるようにしている。廃棄は、市立図書館の基準に沿って運用している。

I-(2) 山内図書館独自の図書館サービス

(D委員) 駅返却ポストについて書かれているが、よく発生する不具合はあるのか。
(指定管理者) 図書館カードがうまく読み取れないことは一定数あるが、修繕前と比べてかなり減っている。利用者には、復旧後に利用いただくか、ついでがあれば図書館にお越しいただくよう案内している。「カードを置いて、読み込むのをゆっくり待ってください」という説明で解消されることも多々ある。

(C委員) ツイッターのツイート数がとても多いと感じた。令和2年度から飛躍的に数が増えているが、この時、何か具体的な取り組みをされたのか。また、ホームページのアクセス件数はあるが、ツイッターの閲覧数などの数値はとれているのか。

(指定管理者) ツイート数は、担当チームを組んで取り組むようにしたことで増加した。閲覧数や「いいね」、リツイートなどの統計はとっていない。

(C委員) ティーンズに向けツイッターの効果があつたと事業報告で伺った。本は装丁や表紙が美しく、興味をひくものが多い。インスタグラムの使用予定はあるか。

(指定管理者) 今のところ予定はない。

(E委員) 有料宅配サービスは、どの程度値上がりしたのか。

(指定管理者) 特約で350円だったが、ゆうパック通常料金での利用を郵便局から通達された。最低でも810円となり、大きい値上げになってしまった。

(B委員) 本の厚みにもよるが、レターパックライトを使えば以前の料金と変わらないと思う。利用の検討はしていないのか。

(指定管理者) 宅配利用で最も多いのは、お子さんのいる家庭。絵本中心に30冊など多数送ることもある。また送料は着払いとしているため、レターパックは難しい。

I-(3) 地域の読書活動推進に向けた取組

(A委員) ティーンズコーナーのPOPを中学生に作ってもらい、おすすめ本の掲示物を作るなど、色々と工夫していることがわかった。その結果、どのように利用実績が向上したか、数字は把握しているか。

(指定管理者) 直接因果関係がわかる数字はとれていない。同年代のお子さんたちが掲示を見ている姿はよく見かける。

(A委員) 力を入れている事業は、効果を把握したほうがよい。

I-(4) 山内図書館の目標に関わる取組

(B委員) 学校連携の事業数は、減少しているのか。

(指定管理者) 令和3年度の9月末までは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、学校側も慎重だった。緊急事態宣言の解除後、特別支援学校からの依頼はあったが、公立小中学校はまだ慎重だった。ただ、図書館見学をオンラインで対応し、図書館のバリアフリーについて配信したこともある。

(C委員) カウンターの向かい側の掲示スペースに「山内図書館の目標」が12枚くらい貼ってあったが、文字数も多く、あの場所にずっと立って読むのは、あまり現実的でないと感じた。掲示するルールがあるのか。

(指定管理者) 市立図書館全館共通で、掲示することになっている。

(C委員) 貼ってあることは伝わるが、内容の伝達が重要。ポイントを箇条書きで掲出し、詳しく全文読みたい方には冊子を置いておくなどしてはどうか。

(A委員) 学校連携のなかで、学校司書やボランティアの方など、学校図書館に携わっている方との連携、ネットワークはどうなっているのか。

(指定管理者) 毎年年度当初にアンケートをとり、どのような課題があるか、どういう支援ができるかお聞きしている。その後に申込みしてもらって、支援が実現する。また、今年度は学校訪問も再開している。

(A委員) アンケートをとるより前に、顔が見える関係を作って、フランクに情報交換ができたり、全体の読書活動の動きを作れるような関係を作れたらいい。訪問もよいと思うが、皆で集まって、それぞれの事情や悩み、課題、思いを共有する、横のつながりを作るのが図書館の役割なのでは。

(指定管理者) 学校図書館のボランティア交流会を開催している。また、毎年学校司書研修を開催しており、後半を交流会にあてている。

I-(5) 市民からの意見を聴取し反映させる取組

(D委員) 平成29年度評価で指摘した、車いす利用者が投函できる位置にご意見箱を置くことは対応されていたが、ご意見に対する図書館の対応については、掲示板の上方に貼ってあった。車いす利用者からは見えづらい。

(指定管理者) 「図書館の目標」の掲示をうまく整理できれば、場所を確保したい。

(C委員) 資料3の「8 市民からの意見」に意見の受付件数があるが、ご意見箱の受付件数もここに含まれているのか。また、窓口で受付したものも含まれるのか。

(指定管理者) ご意見箱の受付件数、また、窓口や電話でいただいたご意見は「山内図書館での受付件数」に含まれる。

(C委員) 令和元年度は苦情の数が多。特別な事情があったのか。

(指定管理者) 駅返却ポストの不調が原因と思われる。

II-(1) 施設・設備の良好な維持管理

(C委員) 入口のひさし部分の塗装が劣化してぼろぼろと剥がれており、触れたら落ちてきそうな感じがした。修繕の予定はあるか。

(指定管理者) 危険性がないこともあり、今のところ修繕予定はない。下地がアルミで、塗装すると乗りが悪く落ちてくる。大規模修繕の際に塗り直したく、機会を待っている。

II-(2) 環境・衛生に配慮した施設の維持

(D委員) ここ数年はコロナ対策が重要だったと思う。財務面では、令和3年度も消毒液など、通常ではない出費がまだ続いているか。

(指定管理者) 続いており、消費が激しい。管理簿をつけ、切れる前に発注している。

III-(1) 緊急時対応の仕組み整備

(A委員) 山内地区センターは、災害時の帰宅困難者一時滞在施設となっている。市民には地区センターと図書館の区別がつかない人も多く、かなり混乱するだろう。そういうことを含めて地区センターとの連携は確認しているか。

(指定管理者) 令和3年6月に区役所の方をお呼びして、帰宅困難者受入の一連の流れなどについて、山内地区センターと一緒に話を聞いた。図書館は本棚があるので、地区センターと同じように帰宅困難者を受入するのは難しいが、図書館のトイレや水道も使用希望はあるだろう。その場合は施設として一緒に対応する。

(A委員) 帰宅困難者が多すぎて地区センターで受入できなくなれば、ロビーの使用など要望がありそうだ。いろいろ想定をし、対応を考えておいてほしい。

(指定管理者) その場合には横浜市と協議して、安全な部分であれば対応したい。

III-(2) 防犯や事故防止の対応

(E委員) 児童室の防犯カメラは集中管理か。

(指定管理者) そのとおり。

(E委員) 録画は残されるのか。司書が見ているのか。

(指定管理者) 録画は残される。画面をずっと見ているわけではないが、特に夜間は注視している。子どもが一人である場合には、定期的にその場所を巡回している。

(B委員) 防犯カメラだけに依存しているわけではないということか。

(指定管理者) 館内を巡回し、カメラは補助的に使用している。

III-(3) 防災業務

(B委員) 第1回委員会で利用者参加型の防災訓練の事例を紹介したが、それはコロナ禍より前だった。現状では、利用者を集めた訓練は現実的でないかもしれない。

(D委員) コロナ禍も2~3年経って、今は感染者が増えているが、利用者はわりと多く来館していた。利用者参加型の訓練はコロナ収束後に考えたいとのことだったが、コロナ禍でも利用者はそれなりにいるという前提で何かできるほうが現実的かと思った。とはいえ人を集めてというのも、時節柄なかなか難しいとも思う。よい解決策が提示できるわけではないが、引き続き検討をお願いしたい。

IV-(1) 業務の執行体制

質問なし

IV-(2) 個人情報保護及び守秘義務

(B委員) 最近では個人情報の漏洩に関する事案はなかったのか。
(指定管理者) なかった。

IV-(3) 職員の能力向上・情報共有を図る研修等の取組

(B委員) 図書修理は、ボランティアだけでなくアルバイトも行うのか。
(指定管理者) アルバイトにも一定の時間をあて、のり入れ作業などをしてもらっている。修理に興味を持ち、任意でボランティアの活動時間に参加してスキルアップをはかっている者もいる。

IV-(4) 財務・経理業務

(D委員) 令和3年度の収支予算報告書の人件費の決算額について、給与・賃金は予算額を上回っている。一方で社会保険料は予算額より少ない。一般的に、給与が増えれば社会保険料も増えるのでは。
(指定管理者) 人件費は社員とアルバイトの合算金額。アルバイトは週5日勤務の方を多く雇用したく、そのつもりで予算を計上したが、実際には扶養控除の関係で勤務時間を抑えたい方が多く、こうなった。

全体を通して

(B委員) 指定管理者は横浜市の郷土資料を出版している。ミニミニショップ「山内堂」ではスペースの関係で多くは出せないと思うが、カタログなどで市民のニーズがあったら販売することはできるのか。

(指定管理者) 出版物の目録を毎年作成している。それを置くことを検討したい。

(E委員) 販売を行うことについて、何か制約はあるのか。

(指定管理者) ワゴン設置部分は目的外使用となり、面積分の使用料を支払っている。本はそれほど売れるわけではなく、どちらかというとい図書館サービスとして、図書館で使う文具や、絵本のキャラクター商品が売れる。また、青葉区のマップなど、地域資料はいくつか販売している。地元の方が作成したご当地カルタを、学校の先生が授業で使うために買っていく例もあった。

(C委員) 館内の本のディスプレイや陳列の仕方が印象に残った。自分の研究室にも本が多くあるが、整理整頓や見栄えよく置くことが難しい。斜めに本を置いて表紙を見せたり、丸い筒を3つ接着したものを使って本を展示したりしていて、いろいろな工夫が見られて素敵だなと思って拝見していた。これは、他の市立図書館でもやっているのか。山内図書館の独自の、書店のノウハウなのか。

(事務局) 他の館でも、展示は行っている。

(指定管理者) 丸い筒は、レシートロール紙の芯を廃品利用したもの。

(C委員) そういうオリジナルの工夫を、利用者の方にも情報発信できるとよいのでは。山内堂に本だけでなく、ディスプレイ関連の道具や使い方の情報があれば、各利用者の本にまつわる環境が整えやすくなり、よいのではないかと。

(D委員) 「横浜市山内図書館 2020 年度図書館利用者満足度調査報告書」に、自由記入の回答として「夜や休日にイベントや講座がなく、興味があるが行けない」とあった。実際、夜間や休日は実施していないのか。

(指定管理者) 「あざみ野ブックカフェ」は夜間に実施している。今年度新たに読書倶楽部を開催しているが、それも夜間に開催している。

(E委員) 今年は開館 45 周年。企画しているイベントはあるのか。

(指定管理者) 利用者からからおすすめ本を募集している。特に若い方、ティーンズ向けの本を中心に紹介したいと考えている。夏前には塗り絵を配布し、塗っていただいた作品を展示し、かわりに図書館作成の缶バッジを差し上げる企画を行った。秋からは青葉区ゆかりの作家・佐藤春夫に関し、「文豪とアルケミスト」とタイアップした展示を開始する。年明け以降に、大型講座の開催を検討している。

(A委員) 玄関を入ってすぐの床面に、線で区切って「大人ゾーン」「子どもゾーン」と表示がある。大人が絵本を読んだり、子どもが難しい本を読みたいこともあるので、表示は見直した方がよいのではないかと。壁面のフロア図には「児童書コーナー」「一般書コーナー」と書いてあり、表記も統一されていない。

また、50 か所あるという団体貸出の場所で本を読めれば、宅配を利用しなくても、そこに行って読むことができるかもしれない。そういう情報提供はしているのか。

(指定管理者) 青葉区の読書マップを区役所と一緒に作り、配布している。

(A委員) 宅配利用をやめた方に情報提供したら、利用されるかもしれない。

<ヒアリング終了、指定管理者退席>

委員による意見交換

(D委員) コロナのクラスターは発生していないか。

(事務局) これまでにはない。

(E委員) 先ほど話のあった「大人ゾーン」と「子どもゾーン」について、子ども連れでないと、子どもエリアに大人が入りにくい雰囲気があった。運営上、分離の必要性があるのか。

(事務局) 児童書エリアは子どもが親しみやすいように作っていて、大人仕様にするのは難しいが、A委員のご指摘のように、表示を工夫する余地はあると思う。

(A委員) 先ほど指摘したように、入ってすぐの床に大人ゾーンと子どもゾーンを分ける線が引いてあるのは、よろしくないのでは。自由にボーダーなく動ける方がよい。壁面のフロア図についても同様。

	<p>(B委員) 横浜市中心図書館では、ワンフロアの中に児童書、隣にヤングアダルト向けコーナー、さらにその奥に一般書がある。今読む本、これまで親しんだ本とこれから読む本が連続して置いてあることによって、ヤングアダルトが小さいころに読んだ本に帰ったり、背伸びしたいときには大人の本が読める。フロア構成が自然でよい。保護者がお子さんのために絵本を選ぶことも当然ある。あまりはっきりと色分けしないほうがよい。</p> <p><審議終了></p>
<p>資 料 特 記 事 項</p>	<p>1 資料 (1) 令和4年度第1回横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会 会議録(案) (2) 山内図書館 令和3年度管理業務評価シート(指定管理者記入済み) (3) 横浜市山内図書館 活動実績(平成29年度～令和3年度)</p> <p>2 特記事項 (1) 令和4年第1回委員会の会議録は承認 (2) 令和4年度第3回委員会は令和4年10月28日(金)開催予定。</p>